



▲多くの保護者が「お笑い」を学びました



▲お笑い芸人(左)の話術に笑みがこぼれました

笑育とは：「お笑い」を通して、子どもたちが楽しみながら表現力やコミュニケーション能力を身に付けることを目的とした取り組みです。

この日は、小学校が松竹芸能株式会社（大阪市）の協力を得て今年度から取り組んでいる「笑育」について、同社からの説明後に、お笑い芸人「じなんぼいず」による講演が行なわれました。講演では、関西弁の軽妙なトークを交えながら、日頃の生活で活かせる笑いのポイントや伝え方・話し方が保護者に楽しく伝えられました。佐藤匡飯樋小PTA会長は「笑いを通して学ぶことで、人と人をつなぐ力が身につくと感じた。学校だけでなく、家庭でも笑いを通して楽しい家庭を築いていきたい」と感想を述べました。

12月2日、草野・飯樋・白石小学校で「笑育」が開催され、保護者がお笑い芸人から「お笑い」を通じたコミュニケーションを学びました。

笑いで育てる。



▲キラキラ輝く笑顔を見せてくれました

11月25・26日の2日間、幼稚園ではつびよう会が行われ、来場者の前で、この日のために練習してきた音楽劇やダンスを発表しました。

今年は「えがおいっぱいげんきばわーはつびようかい」をテーマに開催。ステージに立った子どもたちは、保護者を見つけると手を振ったり笑顔を見せたりして、楽しそうに発表をしていました。

幼稚園から元気をお届け！



▲園児の元気な歌声が響き渡りました

草野・飯樋幼稚園からのお便りです。



最優秀賞 西尾健太さん（白石小2年）

透明なサイがひとりぼっちだったけれど、ウシツツキがツツンとやって背中に来てくれた感触が懐かしいなと思ったところがいいなと思って描きました。



▲小学校で行われた表彰式の様子

本の世界を、絵で表現



12月5日、教育委員会が小学生を対象に行った、第5回読書感想画コンクールの表彰が行われました。これは、読書で感じたことを絵画と文章で表現すること、本に親しみ、読書力・表現力・豊かな感性や想像力を育むことを目的としています。

最優秀賞

西尾健太さん（白石小2年）

優秀賞

大矢陽翔さん（白石小4年）

佐藤陽季さん（飯樋小6年）

石井樹里さん（神奈川県相模原市横山小学校）

佳作

安齋義智さん（飯樋小1年）

佐藤碧衣さん（福島市蓬萊東小学校）

菅野拓真さん（飯樋小3年）

庄司大夢さん（草野小4年）

志賀遙奈さん（飯樋小5年）

庄司梨花さん（草野小6年）



健太さんが読んだ本
とうめいのサイ
作：くすはら順子



▲「よいしょ」のかけ声にあわせて餅つき！



▲つきたてのやわか〜い餅をほおばりました

ひと足先にお正月♪

12月6日、幼稚園で恒例のもちつき会が行われ、保護者や深谷地区有志の方などの協力を得て、園児が臼と杵で餅つきを体験しました。

園児の元気なかけ声に合わせて餅つきが始まると、部屋中が蒸した新米のもち米のいい香りでいっぱいになりました。

餅をつく子・応援する子、皆でがんばってついた餅は、汁餅ときなこ餅にして美味しくいただきました。